

# 第34回

# うつのみやこども賞だより

平成29年度 9回

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

『ビブリオバトルへ、ようこそ！』

濱野京子／著（あかね書房）

## ～読んだ本の感想より～



- ビブリオバトルで、人の意外な一面を知ったり、話すことを考えるうちにその本のいいところがどんどん出てくるところを知って、ビブリオバトルをしたくなった。
- ビブリオバトルの楽しさが分かったり、柚月がめげずにがんばるところがかっこいいと思いました。
- 図書館でやれる本のしょうかいや、よい本を選ぶビブリオバトルのことがよくわかった。
- 恋愛や友情など、色々なひとの思いが交さっていて新せんだった。
- ビブリオバトルに興味がわく本だった。しょうかいされた本の中で、あ、これ知ってる！という本がたくさんあって、うれしい気持ちになった。
- 読んでみたいなと言う本ものっていて面白かった。

『つくえの下のとおい国』 石井睦美／著（講談社）

- ファンタジーは好きだから読みやすかった。
- トホウモナイ国では、不思議なことや、様々ななぞがおきていて、最後には全てのなぞが解けるストーリーの中に会話など、笑えるところも入っていて読みあきない。
- 色々な質問がだされていてそのことを考えたり、マナやリオの答えを見たりして、読むのがおもしろくさくさく読めた。
- 不思議なつくえの下に私も行ってみたいと思いました。私だったらどんな世界に行きたいか、いろいろ考えられて読み終わった後も楽しかったです。
- 最初から最後までぼうけんストーリーで、わくわくドキドキしながら読みすすめられたのでおもしろかった。

『走れ！ヒットン』 須藤靖貴／著（講談社）

- いろいろとアクシデントがあったが、運動会が無事に成功してよかった。
- 運動会のハプニングもどうなるかドキドキした。
- ヒットンが「走」れてよかったと思った。
- ヒットンが左足首をねんざしてしまって、運動会に間にあわなくなってしまってドキドキした。
- 運動会で行う、大技の〈超速ピラミッド〉で、三人の動きをそろえるというポイントがすごかったです。
- ヒットンが走るのはただ足で走るだけでなくほかにも色々な意味で走ることを知り、成長していくところがおもしろかった。

『花あかりともして』 服部千晴／著（出版ワークス）

- 花という名前がどういう由来だったのかが分かって、感動した。
- 花を育てたらいけない時があったなんて、おどろきました。
- 絵が色づいてるところがあって話もすごく感動しました。
- 花を禁止されていた時代にお父さんを待ち続けたおばあちゃんに感動しました。
- 「花あかり」の本当の意味を知ったとき、少しどきどきしたけどおくが深くてももしろかったです。

平成30年2月4日

うつのみやとしょかん  
Utsunomiya city library